

光れ！そえひっ子



平成 21 年 3 月 1 日 発行

連絡先: 電話 73-2312 FAX 73-2313 有線 2301 HPアドレス <http://www.school.unic.jp/soehi/>

子どもの食を考える会(学校給食委員会)の報告

20 日に開かれた「子どもの食を考える会」には、PTA 正副会長、各学年 PTA 学年学級部員の皆さんに出席いただき、大変有意義な会になりました。以下、その報告です。

1 学校給食費について

今年度は、原油高にともなう物価高騰と安全性の高い国産品の使用へ切り替えのため、給食費を高学年、低学年ともに 10 円ずつ値上げをさせていただきました。おかげさまで給食の質を落とすことなく、安全でおいしい給食を子どもたちに提供することができました。また、給食費は、食材のみの購入費用に当てさせていただいております。給食調理にかかる人件費や光熱費、消耗品などは市が負担していることもあわせて報告させていただきました。

2 学校給食のねらいについて

給食は、子どもたちの健康を維持するために栄養バランスの取れた食事を提供するという過去の目的とは変わってきています。子どもたちの健康を維持するためだけでなく、給食を通して望ましい食習慣を養うことや、給食を通して食の文化や地域の文化に触れ、感謝の気持ちを育てています。

3 来年度の本校食育の方向について

望ましい食習慣を育てていくために、食事マナーの正しい姿勢(はし・茶わんの持ち方・食べる姿勢)について年間を通して指導していきます。毎月 19 日のしょくいくの日に子どもたちと一緒に食事マナーを振り返ります。ぜひ、ご家庭でも日々の食事の中で気にかけていただけるとありがたいです。

【参加された保護者の方の感想】

- ・給食をこんなに大事に考えてくださっていて大変ありがとうございます。
- ・安全でおいしい給食を子どもたちに食べさせるために、調理の先生方が衛生面でたくさんの気遣いをしてくださっていることに驚きました。

3 月の予定

地区児童会	3 日(火)
J A 引き落とし日	5 日(木)
6 年生を送る会	6 日(金)
P T A 引継・新理事会	6 日(金)
三学期終業式	17 日(火)
卒業式・離別式	18 日(水)
春 休 み	19 日(木)
	～ 4 月 2 日(金)
P T A 会計監査	24 日(火)
新 5, 6 年生登校日	30 日(月)

平成 21 年度

第 137 回入学式	4 月 3 日(金)
第 1 回参観日 (PTA 総会・歓送迎会)	4 月 17 日(金)
家庭訪問	4 月 20 日(月)～ 4 月 27 日(月)

卒業式案内

期 日 平成 20 年 3 月 18 日(水)

日 程

・保護者受付	8:10 - 8:20
・来賓受付	8:30 - 8:40
・卒業証書授与式	9:00 - 10:30
・離別式	10:55 - 11:10
・学級活動	11:20 - 11:50
・見送り	12:00 12:15
・下 校	12:20

2月の傍陽小学校



4年生が、真田地域消費生活展に参加(1月31日)「わたしたちの地球をまもろう～4松エコ活動大作戦～」という学習の成果をステージで堂々と発表し環境保護を地域の皆さんに訴えました。



児童会 6年から5年に引継 1月の末から児童会選挙が行われ、5年の正副会長や委員長がきまりました。そして、児童総会では、6年による児童会活動のまとめと引継式が行われました。いよいよ5年生の出番です。

児童会長選挙教室訪問

児童会選挙立会演説会

第3回児童総会

総会中に行われた引継式



真田地域小学生ドッジボール大会(22日) 3年から6年までの有志が参加しました。3, 4, 6年は1チームずつ、5年は2チームで出場し、熱戦を繰り広げました。ドッジボール教室への参加や週末の体育館練習の成果が見られ、惜しくも負けてしまった試合でも、粘り強く、最後まであきらめない態度がさわやかでした。



本年度、傍陽小の重点活動の一つ「地域行事や大会への積極的参加を...」について

本年度、傍陽小では、重点活動の一つに「地域行事や大会への積極的参加を勧める」を掲げ、対外的な活動について例年以上に積極的な参加を呼びかけてきました。その結果、スポーツ関係では、「上田市陸上カーニバル 2008」「真田地域小学生水泳大会」「真田地域小学生ドッジボール大会」に例年以上の子どもたちが参加し、他校の子どもたちと競い合いました。また、「真田地域ふるさとウォークラリー」「清掃ハイキング」にも大勢の子どもたちが参加しました。これらの成果を喜びつつ、特にスポーツ関係では、「せっかく参加するのだから、ある程度の成果をねらいたい。」「そのために、もっと練習したい。」という声から出てきて、ドッジボール大会では、「土曜日の体育館練習」などにも大勢の参加者がありました。今回のドッジボール大会では、その努力の成果が出ているように思われます。

ただ、学校としては、「全員参加」を目標にしませんし、学校生活に影響するほどの加熱した練習も避けたいと考えています。学校が大事にしたいことは、参加する子ども達の気持ちです。たとえ参加人数が多くても「みんなが出るから自分も出なくては～」という消極的な子ども達ばかりでは、あまり参加することに意義があるとは思えません。10歳前後の子ども達にとって「自らの意思で参加する」ことで、「自分が出たいと言って出たからには本気で取り組む」という姿勢が生まれますし、その結果「苦しさを乗り越えて、自分の力を出し切る」こともでき、さらには、「もっと強くなりたい」という欲が出てくるのではないかと考えています。

ですから、今募集している「真田地域少年スポーツ教室」にも、ぜひ「自ら」の意思で参加して欲しいと願っています。